

海底地殻変動観測技術の高度化

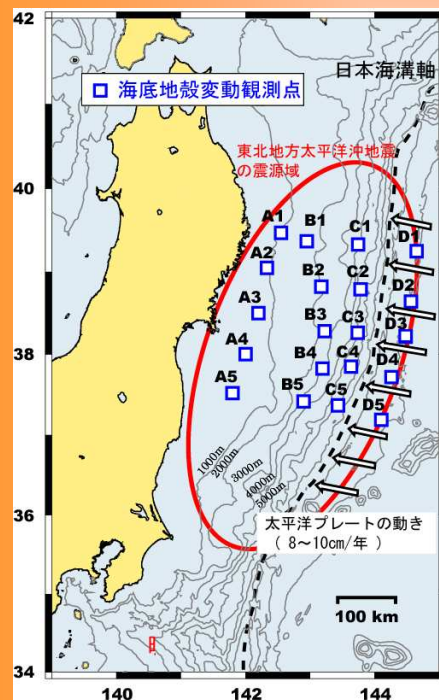
背景

- 海溝型巨大地震の想定震源域において、**精密な地殻変動観測**を行うことにより、プレート境界の固着状態の空間分布を把握することで、将来の**地震の予測が可能**。
- これを達成するためには、GPSと音響測位を統合した**海底地殻変動観測技術のさらなる高度化が必要**。
- 中央防災会議の「東北地方太平洋沖地震を教訓とした地震・津波対策に関する専門委員会」の報告（平成23年9月28日）においても、海底において直接地殻変動を観測し、プレートの固着状態を調査する必要性を指摘。

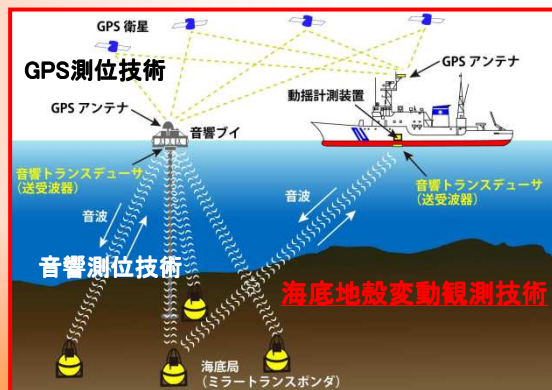
概要

今後予想される巨大地震のプレート境界の固着状態の解明に貢献するため、**海底地殻変動観測の測位精度の向上のための研究を実施**する。

海底地殻変動の観測点配置案

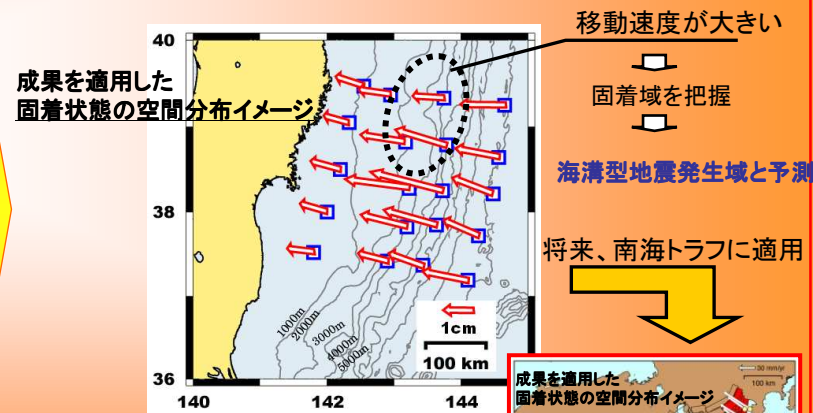


- 平成23年度の補正予算で、東北地方太平洋沖地震の余効変動が継続する宮城県沖に20点の観測点を展開する予定。
- これを用い、地形や海況等の様々な環境条件で、測位精度を向上させる研究観測を実施。



海底地殻変動の観測イメージ

- ・ 観測精度を5cm程度から1cm程度に向上
→ プレートの動きを精度高く観測
- ・ 大深海かつ遠方での観測技術の確立
→ より広域な範囲での観測が可能に
- ・ 宮城県沖の海底地殻変動の把握
→ 将来発生する地震予測の精度向上に寄与



来るべき海溝型巨大地震のプレート境界固着状態の時間変動を監視し、発生予測に対して寄与する。

